

国道208号 浦島橋架替事業の概要

<計画平面図>



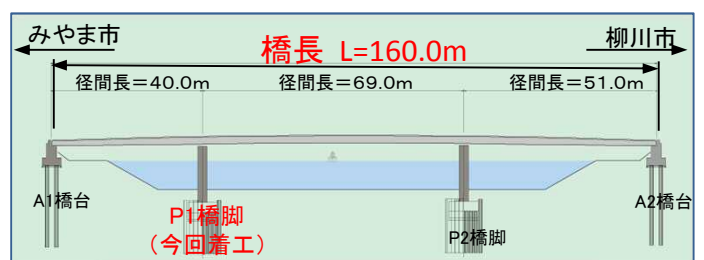
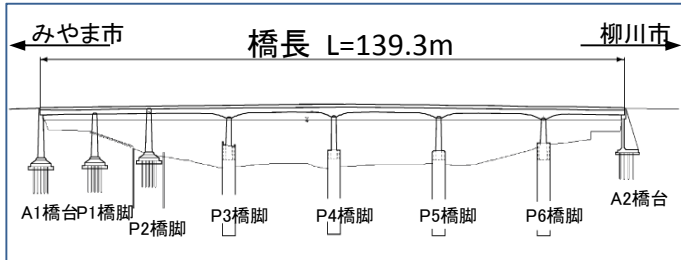
■現在の浦島橋■

〔現況写真〕



■新しい浦島橋■

〔完成イメージ〕



<整備効果>

①橋梁の耐震性向上



浦島橋は、昭和31年に架設されて以来58年余り経過しており、橋の損傷が激しく、これまで補修・補強工事を行ってきましたが老朽化が進んでいます。

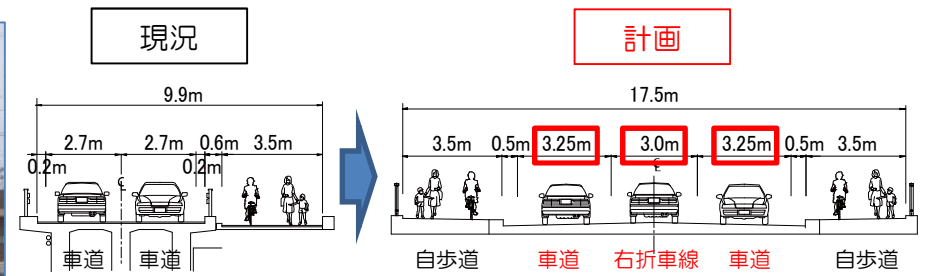
橋の架替えを行うことにより、損傷対策はもちろん、大きな地震にも耐えられる橋になり、安全性や耐震性が向上します。

② 渋滞の緩和

【車道の拡幅】



< 橋梁部の幅員 >

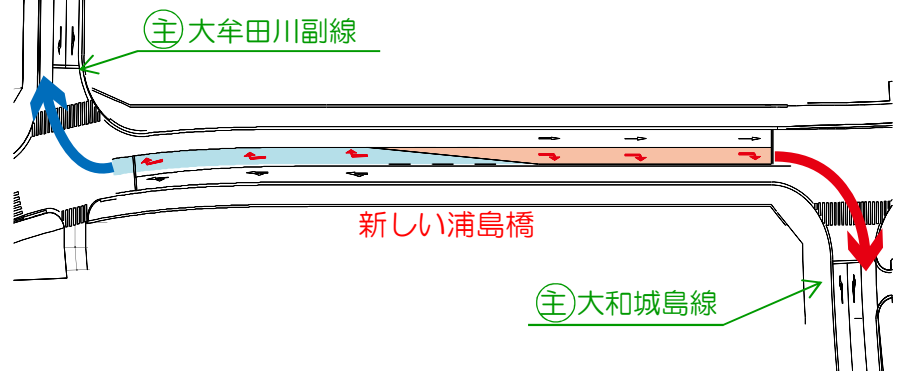


浦島橋の車道幅員が片側2.7mから片側3.25mに広がることにより、大型車の離合時等において、安全でスムーズな走行ができるようになります。

【右折レーンの設置】



< 橋梁上に右折レーンの設置 >

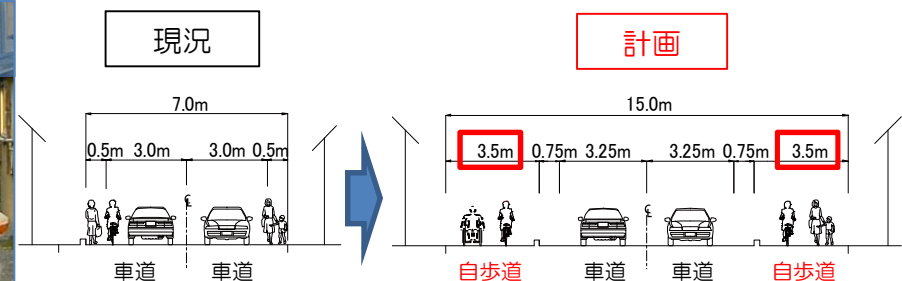


① 大牟田川副線及び② 大和城島線方面に右折する自動車による渋滞を緩和するために、橋梁上に右折レーン(幅員3.0m)を新たに設置します。

③ 歩行者等の安全な通行確保



< 一般部の幅員 >



橋の区間及び前後区間で幅員3.5mの自転車歩行者道を両側に設置することにより、自動車・歩行者等ともに安全・安心して通行できるようになります。